

# 南薩地域 地域振興の取組方針<改訂版>の概要

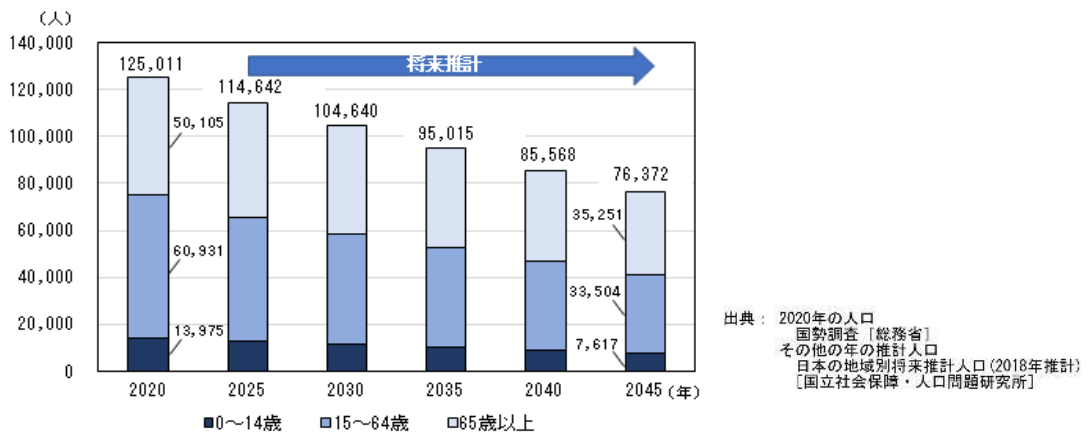
## 1 「南薩地域 地域振興の取組方針<改訂版>」の主な内容

### (1) 時代の潮流と南薩地域の現状・課題（第2章）

#### ア 人口減少・少子高齢化の進行

南薩地域は、県内で最も急激に人口減少が進み（図1）、将来にわたって高齢化が進行する地域と見込まれており（図2）、各団体や企業等との意見交換でも、一番の課題は人材不足であるとの意見でした。人口減少そのものを止めることができなくても、減少のペースをより緩やかなものにし、地域の産業やコミュニティの持続可能性を高める取組が必要です。

【図1】将来推計人口



【図2】高齢化率の推移と将来予測



#### イ 経済の現状

南薩地域の一人当たりの市民所得は、県平均の約9割となっており、地域の基幹産業である農林水産業や観光関連産業の更なる振興を図るとともに、高い技術力を有する製造業の競争力の強化や将来を担う新たな産業の創出に取り組み、経済を持続的に発展させることで、「稼ぐ力」を向上させ、市民所得の向上を図る必要があります。

#### ウ 教育・子育て環境の変化への対応

少子化により小規模の学校が多くなり、切磋琢磨する教育活動ができないなどの課題がある中、全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学び、協働による学びを実現する必要があります。

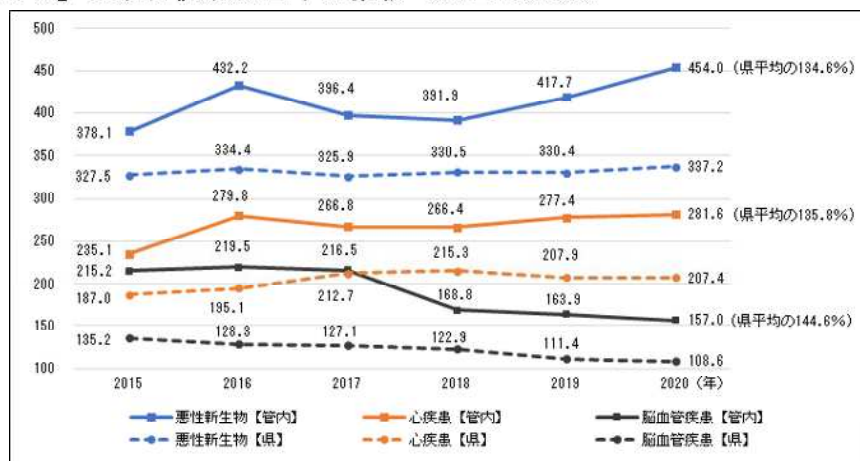
子育て環境については、子育てに不安や負担を感じる親を支援し、全ての子育て家庭が安全かつ安心して子どもを育てられるよう、地域全体で子育てを支える必要があります。

## エ 健康課題への対応

三大生活習慣病である悪性新生物，心疾患，脳血管疾患による死亡率が県平均を上回り，特に脳血管疾患については，これまでの取組により改善傾向が見られるものの，県平均の1.45倍と依然として高い水準で推移しています（図3）。食生活の改善や運動習慣の定着などの生活習慣病発症予防と，生活習慣病に罹患した場合でも合併症の発症や症状の進展等の重症化予防に向けた対策が必要です。

また，2021年までの5年間の自殺による死亡率が多く年代で県平均を上回っており，その防止のためには，様々な分野における施策の連動性を高めた対策を推進する必要があります。

【図3】生活習慣病死亡率の推移（人口10万対）



出典：県人口動態調査統計表  
【県保健医療福祉課】

## オ デジタル化への対応

人口減少社会に対応し，地域の産業が長期的に持続して発展するためにはI・O・T・A・Iなどのデジタル技術の導入による生産工程の自動化，業務の改善・効率化の取組が必要です。また，医療や福祉，防犯や防災など安心・安全な社会を実現するためにもデジタル技術の活用が必要であり，地域におけるデジタル化の取組を加速させていく必要があります。

農林水産業をはじめ，製造業や建設業，観光業など，各分野においてデジタル化を推進するため，地域の現状，事業者の意向・状況に応じた支援を行う必要があります。

## カ 地域の社会資本整備と防災・減災対策

安心・安全に暮らせる地域づくり，産業振興等の観点から，主要幹線道路網等の整備，漁港，畑地かんがい施設等の生産基盤の整備，防災・減災対策を着実に進める必要があります。

さらに，将来にわたり地域の公共交通を確保するため，在来線鉄道（JR指宿枕崎線）やバスの利用促進等に取り組む必要があります。

## (2) 取組の基本方向（第4章）

南薩地域には豊かな自然や食，豊富な温泉，伝統的な文化・祭りなど，素晴らしい地域資源があります。南薩地域の更なる発展のためには，このような地域のポテンシャルを生かしつつ，直面する課題に，丁寧に粘り強く取り組む必要があります。南薩地域における一番の課題は，「人口減少と少子高齢化」です。これは，全国に共通した課題ですが，南薩地域は県内で最も急激に人口減少が進み，高齢化が更に進行すると見込まれていることから，特に力を入れて対応する必要があります。今後，以下の5項目について，重点的に取組を推進します。

## ア 誰もが健康でいきいきと活躍できる地域社会づくり

- 生活習慣病については、各ライフステージに応じた生活習慣病等の予防に関する正しい知識の普及を図るとともに、各市が取り組む発症・重症化予防対策を促進します。

また、自殺対策については、ゲートキーパーなどの人材育成等を図るとともに、関係機関の密接な連携のもと、自殺未遂者への適切な支援を行い、自殺の再企図防止に努めます。

- 高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるために、豊富な知識・経験・技能を生かして、地域づくりの担い手として社会参加することを支援します。

また、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制づくりを推進します。

## イ 結婚、妊娠・出産、子育ての希望がかなう地域社会づくり

- 社会全体で結婚を応援する気運の醸成を図るとともに、各市における出会いのきっかけづくりの取組を支援します。

- 妊娠・出産から新生児に至る高度専門的な医療を効率的に提供する総合的な周産期医療や小児医療の提供体制の確保を図るとともに、就労形態の多様化に伴う様々なニーズに対応するため乳幼児の一時預かりや、病児保育、ファミリー・サポート・センターの設置など、子育て世帯が利用できる多様な保育サービスの充実に向けた各市の取組を促進し、安心して子どもを産み、育てられる環境を整備します。

## ウ 未来を拓く人づくり、地域を支える人材の確保

- 学校、家庭、地域が連携・協働した教育活動を推進し、基礎学力の向上を含め、子どもたちが社会と関わり合いながら新しい時代を切り拓いていくために必要な資質・能力を育成します。

また、地域素材を活用した学習や異年齢集団による体験活動、ICTを活用した学びを推進し、郷土や自身を大切にする自己肯定感の高い子どもたちを育てる取組を推進します。

- 人材の確保については、進学で南薩地域を離れた子どもたちやUIターン希望者に対し、SNS等により南薩地域の仕事、暮らしの情報発信に取り組めます。



遠隔授業  
(南さつま市立大笠中学校)

## エ 地域産業の「稼ぐ力」の向上

### (ア) 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

- 新規就業者、農業法人、女性リーダーなど多様な担い手を育成するとともに、農業マッチングアプリの活用や外国人材の円滑な受入れなど、多様な人材の確保に向けた取組を推進します。

- ・ 地域の特徴的な取組として、農業については、地域ブランドを生かした日本一の茶産地づくりと有利販売に向けた有機栽培茶や碾茶生産を支援するほか、有機農業の技術確立・普及及びIPM技術を活用したオクラやスナップエンドウ等の生産や温泉熱を活用した観葉植物の生産など持続可能な環境負荷軽減の取組を推進します。

水産業については、カツオ、タカエビなどの地域特産魚やかつお節などの水産加工品のブランド化を図るとともに、出汁の食文化のPRによりかつお節の消費拡大を促進します。

また、地域にある県水産技術開発センターと連携した藻場造成の推進や多様化する消費者ニーズや流通形態に対応した付加価値の高い商品づくりへの取組を支援します。

林業については、しいたけやシキミ・サカキといった枝物などの特用林産物について、農山村における就労機会の創出や収入源として大きな役割を果たしていることから、生産性や付加価値の高い特用林産物の産地づくりを支援します。



シキミ                      サカキ                      ヒサカキ

特用林産物（枝物）

- ・ スマート農林水産業の普及を図るため、理解促進に向けた体制づくりや現地での技術実証活動等、実装化に向けた取組を支援します。
- ・ 農林水産物の販路拡大対策として、深海魚など新たな食資源となり得るもののブランディング化など食を生かした観光振興や、観光・宿泊施設と連携した観葉植物のPR活動など観光と結びつけた取組を推進します。

#### (イ) 観光の「稼ぐ力」の向上

- ・ 自然公園や薩摩半島の先端にある長崎鼻や野間岬，JR日本最南端の駅「西大山駅」やJR日本最南端の始発・終着駅「枕崎駅」，天然砂むし温泉等の地域特有の観光資源を生かした周遊型観光を推進します。



自然公園と先端の観光スポット

- ・ JR指宿枕崎線と路線バスやレンタサイクル等との組合せや、高速船等の交通網を活用した大隅、種子島・屋久島などの管外の地域との連携などにより広域的な観光振興を推進します。
- ・ デジタルマーケティングの結果に基づき、SNS等を活用した効果的な誘客活動を展開します。

(ウ) 企業の「稼ぐ力」の向上

- ・ 地域経済を牽引する中核企業等が行う研究開発や生産性向上のための取組を支援するとともに、コワーキングスペースの運営主体等と連携し、起業に向けた機運の醸成や環境整備を行うなど、将来を担う新たな産業を創出します。
- ・ I o T ・ A I などのデジタル技術の導入による生産工程の自動化、業務の改善・効率化の取組などへの支援を通じて、ものづくりの基盤強化を図ります。
- ・ 伝統的工芸品などの特産品について、独自の技術やノウハウを生かした新商品開発や販路開拓に向けた取組を支援します。

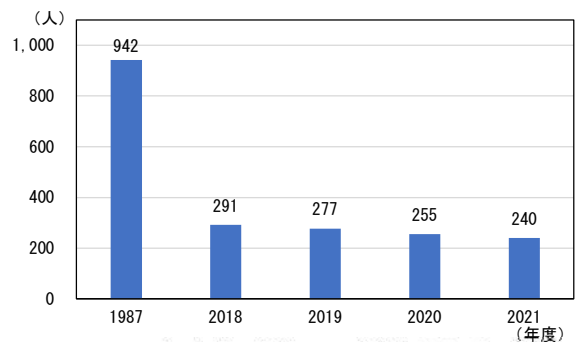
オ 安全・安心・快適に暮らせる地域づくり

- ・ 主要幹線道路等の整備により、地域の交通ネットワークの形成を推進します。また、様々な危機事象に対応するために、社会資本整備等により、防災・減災対策、国土強靱化の充実強化を図り、安心・安全な地域づくりを推進します。



災害に強い道づくり  
(国道226号 笠沙道路)

- ・ 地域において、JR指宿枕崎線を守り育てていく意識の醸成を図るとともに、同路線を観光資源として活用する取組を推進します。
- ・ 持続可能な地域社会をつくるため、地域コミュニティ、NPOなどの多様な団体・個人がそれぞれの特性を生かして取り組む主体的で持続的な活動を促進するとともに、地域資源を生かしたワーケーションの促進等により関係人口の創出・拡大を図ります。



JR指宿枕崎線の平均通過人員

出典：線区別ご利用状況【JR九州】

また、地域の魅力やニーズに即した情報を発信することにより、移住・交流を促進します。

- ・ 各市やNPO等と連携し、空き家を移住定住や地域の交流施設等に活用する取組を促進します。

## 2 改訂に向けた令和4年度の取組

| 取 組                    | 内 容                                                                                                        |
|------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 有識者との懇談会               | 地域の有識者や各種団体の代表等からなる懇談会において、所属する団体等の現状や課題、解決に向けて必要な取組をはじめ、地域振興に向けた方策等について意見交換するとともに、改訂案について意見を聴取しました。（3回開催） |
| 管内4市長との懇談会             | 管内4市長との懇談会において、地域振興の取組方針の見直しの趣旨や改訂案について説明しました。（2回開催）                                                       |
| 人材確保・育成に係る協議会          | 関係団体・企業、専門科系高校、行政からなる人材確保・育成に係る施策等を協議する場において、若年者の地域定着等について意見交換するとともに、取組の方向性について説明しました。（2回開催）               |
| 地域おこし協力隊と局内の若手職員との意見交換 | 地域おこし協力隊と局内の若手職員との意見交換において、移住者や若者の視点から見た地域振興に必要な取組について意見を聴取しました。（1回開催）                                     |
| 各団体・企業、県議会議員、市長等との意見交換 | 現場の最前線で活躍されている方や関係団体・企業（64団体・個人）、地元選出の県議会議員、管内4市長等を個別に訪問し、意見交換を行い、地域の現状、課題及びニーズを聴取しました。                    |
| 策定委員会・作業部会（局内組織）       | 局長、各部長及び教育事務所長で構成する策定委員会と局内各部及び教育事務所の担当で構成する作業部会を設置し、横断的に地域の課題や必要な取組を検討しながら改訂案を作成しました。                     |

### 3 取組方針実現のために（第5章）

#### (1) 県民が主役

県政の主役は県民です。

このため、積極的に現場に赴くなどして、県民の意向を十分把握し、県民の目線に立った、県民の声がしっかりと反映される県政を推進します。

また、地域振興の取組を着実に推進するためには、県民の理解と協力が不可欠であるため、SNSなどの活用を通じて県政情報を積極的に発信します。

#### (2) 多様な主体との連携・協働

南薩地域の目指す姿を実現するためには、県民をはじめ、企業、関係団体、NPOなどの多様な主体が、南薩地域の目指す姿や取組の基本方向を共有し、様々な課題に主体的に取り組んでいく必要があり、「自助」、「共助」、「公助」を適切に組み合わせ、連携・協働を図りながら課題の解決に当たります。

#### (3) 管内4市との連携

行政課題の解決に当たっては、住民に最も身近な基礎自治体である各市との適切な役割分担の下、各市の自主性・自立性を尊重し、連携を図りながら進めていきます。

#### (4) 管外の地域との広域連携

観光や大規模災害など地域を越える広域的な課題に適切に対応するため、管外の地域との連携を更に推進します。

#### (5) 具体的な施策・事業等の推進

地域振興の取組方針は、南薩地域における施策展開の最も基本となるものであり、南薩地域の目指す姿を実現するため、取組方針に沿って、各分野の事業計画等についても必要に応じ見直しを行います。

この取組方針を踏まえて実施する施策・事業等については、各分野の事業計画等において具体化し、PDCAサイクルによる成果の検証などにより、適切な管理等を行います。

また、変化を続ける社会経済情勢に的確に対応しながら、弾力的・効果的な施策・事業等を推進します。

#### (6) SDGsの推進

各種施策・事業等の実施に当たっては、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指すSDGs（持続可能な開発目標）の理念を県民と共有しながら、経済・社会・環境をめぐる広範な課題解決に統合的に取り組みます。